



志高く

自ら考え 学び続ける生徒
心豊かで 思いやりのある生徒
体を鍛え やり抜く生徒



「所見」をもとに 前向きにこれからを語らうひとときを

石川 浩

深谷中学校には、開校時に深谷市の花であった椿が何本も植えられていて、寒さが厳しく彩りが少なくなるこの時期に、凜とした赤い花で学校を飾ってくれます。校長室前に季節を感じられるような飾り付けをしている小さなスペース。師走に入ってから、深中の椿の花がそこにも彩りを添えてくれています。生きている花なので週に1度差し替えています。毎週月曜日の朝、剪定ばさみを持って校庭に出て、部活動の朝練習に励む生徒たちの様子を見ながら、校長室前に飾る花を見繕っています。改めて飾る場所や活ける花瓶に合う花を探すと、花の大きさや数、茎の長さなど・・・「これだ！」と思えるものはなかなか見つからないものです。ぴったりではないけれど、切りそろえればなんとかなりそうな花を切ってきます。



学期末の大切な私の仕事に、通知表に載せるために担任たちが書いた「所見」を確認するという仕事があります。今年度は通常学級16クラスと特別支援学級4クラス、そして通級指導教室2クラスで合計22クラスの担任・担当が一人一人の生徒に対して200文字前後でまとめた文章です[通級指導は在籍校の担任の先生宛にA4判1枚]。担任が書き上げた所見は、まず学年主任が確認し、主幹教諭、教頭と回覧され、最後が私です。私のところに届くのは、いつも終業式までそれほど日がない頃です。大変ですが、楽しく愛おしい仕事です。

私は授業を担当していないので、生徒一人一人と接する機会はあまりありません。こちらから接していかないと、面と向かって直接言葉をかけるのは卒業証書を授与するときだけなんてことにもなりかねません。そんな私にとって、日々接している担任が何日もかけて一人一人の生徒についてまとめた「所見」は、個々の生徒について知る貴重な資料で、私が目にした一瞬、挨拶とともに交わした僅かな言葉といった接点を、面に広げ、時には立体的に膨らませてくれます。学年体育祭で目にした笑顔の理由や悔しがっていたその後の様子、生徒会役員選挙の立会演説会直前の引きつるような表情に至る経緯や背景などを知った上で、改めて私なりに2学期を振り返ることができました。

生徒のみなさん、保護者の皆様、限られた字数で各担任が絶妙に切り取った印象的な、あるいは象徴的な姿や言葉は、自分ではご家族では気づけなかった実像にふれ、大きく2学期全体を振り返ることができるかもしれません。「所見」をもとに、ご家族一緒にこれから始まる冬休みや3学期について前向きに語らうひとときをもっといただければ、校長として大変うれしいです。

深中の椿も、年ごとの気候に合わせて咲く時期を微妙に変えていますし、陽の当たり具合や木によっても花の大きさや咲き方も違います。同じ花は一つとしてありません。当たり前のことですが、私たちはそうしたことに気づけないことがよくあります。花を見て気づくように、今日届く「所見」の言葉を手がかりにして、気づかなかつたり見過ごしてきたことにご家族で目を向けみてください。

令和3年も間もなくその幕を閉じようとしています。本年も、様々な面で保護者の皆さま、地域の方々の深いご理解と力強いご協力に支えていただきました。心より感謝申し上げます。

【お願い】

- (1) **新型コロナウイルスに感染したり濃厚接触者と指定されたりした場合、必ず学校に連絡ください。**
12月29日～1月3日は学校閉庁日で学校に電話が繋がらないので、別途お知らせする緊急連絡先に連絡ください。
- (2) **本校は家庭科で「和服の文化に関心をもち、和服の着方を知る」ことを目標とした授業を計画しており、授業に参加する生徒全員に浴衣[ゆかた]を着させたいのですが、それだけの浴衣がありません。**
そこで、**ご家庭あるいはお知り合いでご不要になった浴衣がありましたらご提供くださるようお願いいたします。**
詳細は、本校HPに掲載していますので、ご確認ください。

2学期を振り返って

2学期終業式の中で、各学年の代表が今学期を振り返るとともに、3学期への決意を語ってくれました。その一部を紹介します。

1年生代表の言葉

1年3組 川田 凜華 さん

私は3つの理由から、2学期を自分としても学年としても大きく成長できた学期だと感じています。

1つ目は生活面です。特に休み時間。落ち着いて充実した過ごし方を効率的にできる人が増えてきました。私も、友達と話せばかりでなく、次の授業の復習や予習をすることが増えました。課題は、周りの人の迷惑になってしまうのに、ドアの前で人が群れてしまう人がいることです。先を見通して動いたり、気がついたら誰でも注意できるようにしていきたいです。

2つ目は行事です。例えば体育祭では、競技の時は全力で楽しみ、話を聞く時や入退場の時には無言になることができました。このような切り替えは、特別な行事だからできたのではなく、普段の生活を通して身に付けてきたことを、行事でもできたということが成果だと思います。

3つ目は学習面です。2学期になって授業内容が一気に難しくなったので、得意な教科と苦手な教科の差が広がってしまいがちです。計画を立てて学習を進めることや、授業でもテストでも振り返りや復習をするようにしています。こうした取組を冬休み中も継続して、2月7日の実力テストでその成果を発揮できるようにしていきたいです。

次の3学期が終わると、私たちは先輩という立場になります。だから3学期は、生活面でも学習面でも、今ある課題をなくせるように、学年全体で計画的に取り組んでいきたいです。

2年生代表の言葉

2年3組 新 真歩 さん

長かった2学期も今日で終わります。この2学期は、私たちにあってどんなものだったのでしょうか。

夏休みは去年のように短縮はされずいつもの時期に始まったとはいえ、部活なしの短縮授業、文化発表会も音楽会も中止。多くの制限の中で淡々と時を過ごす日々でした。しかしコロナウイルスの感染状況が落ち着いてくると、先生方はこの状況でできることを一生懸命考えてくださいました。1つ目は2年生にとって初めての資源回収。学年の皆とできることが楽しくて、保護者や地域の方が集めてくださる資源を一生懸命運びました。私たちの中学校生活は、保護者だけでなく地域の方にも支えられていると肌で感じる体験でした。2つ目は新人戦代替大会。2年生の代になり初めての大会です。短期間の調整のため紆余曲折ありましたが、私たち女バスは新チーム丸となり初勝利を挙げることができました。3つ目は日帰り自然体験学習。トリアクシデントに始まり、榛名湖1周ハイキング、BBQ、ウォークラリーなど、楽しい活動盛りだくさんの1日でした。制限がある中で用意していただいた貴重な行事によって、私たちは様々な絆を深めることができました。

個人的にはどうだろうか。友達に背中を押され立候補した生徒会選挙。ポスターや襷作り、On-line立会演説会と初めて尽くし。恥ずかしさを捨て大声で考えや想いを人前で話せた自分。やっもらう側からやる側に回った自分。多くの新しい自分を発見できた2年生の2学期は、私の「新化」の時でした。

中学校生活の折り返し点を過ぎました。コロナ禍は未だくすぶり続け、この先もどうなるかわからない今だからこそ、今この瞬間を大切に過ごし、精一杯楽しみ、学ぼうと思います。

3年生代表の言葉

3年3組 阿波連 明里 さん

中学校生活最後の夏休みを終え、受験に向けて一層勉強に励む覚悟で迎えた2学期も今日で終わります。なかなか収束しないコロナ禍のため、思いどおりにならないことが多く、悔しい想いもたくさんしてきましたが、それでも充実した2学期を過ごすことができました。

楽しみにしていた修学旅行が中止となり、「学年で一致団結して取り組む行事はなくなってしまった」と思いましたが、学年体育祭はできることになり、全員の力を合わせる行事を経験できました。限られた時間を有効に使い精一杯の準備をして臨んだ、私たちの最後の体育祭。競技中に応援する姿、勝利した時の悲鳴にも似た歓声…。あの日の様々な瞬間に、この深中で過ごした3年間の成長を見ることができたと思っています。昨年の秋から、私たちの代が中心となった生徒会本部が掲げた『挑む』というスローガンを胸に、よりよい深中を創るためにこの1年間努力してきました。私たちの『挑む』姿と志を活かして、2・1年生には深中の『新化』を進めてほしいと思っています。

体育祭を終えると、本格的に勉強を進める時期となりました。1年生から続けてきた家庭学習という課題はなくなり、やらされるのではなく、自分の意志で授業の復習や受験勉強をすることが一番大切で必要なのだと気づかされました。志望校合格を見据えて計画的に勉強を進めることは難しいですが、今までの行事を通して得た、辛い状況でも諦めずに努力し続ける力を糧に乗り越えていきます。

私立高入試まで1ヶ月を切りました。受験は個人戦ではなく団体戦です。皆が一生懸命取り組んでいるのに、その場の空気を壊したり、周りへの配慮が足りなかったりする人いると、クラス全体の集中力が途切れ、受験への志が途絶えてしまします。最後に皆が笑って卒業するために、体育祭で得た一体感を遺憾なく発揮できるように、明日からの冬休みを悔いを残さぬように過ごしていきます。

